

The Weekly Journal of Tokyo Rinkai Rotary Club



クラブ会長ターゲット
「友情を育み、地域社会に貢献する」
"Foster friendships,
Contribute to the community."
2019-2020年度
東京臨海ロータリークラブ会長
佐藤正樹



国際ロータリーテーマ
「ロータリーは世界をつなぐ」
"ROTARY CONNECTS
THE WORLD"
2019-2020年度
国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー

2019年9月4日【第1152回】

創立：1994年8月8日
会長：佐藤正樹
副会長：高橋映治
幹事：杉浦孝浩
会報委員長：勝間田健一

9月4日の卓話	8月28日の出席率	9月11日の卓話
「ご本人の経験からディズニーの経営とコンサルティングを通じた様々な企業の経営について」 経営コンサルタント 橋本 ボブ 宏昭 様	会員在籍者数 39名 会員出席者数 27名 会員欠席者数 12名 本日の出席率 69.23% 前々回訂正出席率 75.68%	「お金を増やすために 知っておきたい基本知識」 野村證券(株) 小岩支店 ウェル・パートナー課 佐々木遥子様 (一社) 相続診断協会 相続診断士

《第1151回例会報告 2019年8月28日》

司会：田村会員



■点鐘：佐藤正樹会長



- ロータリーソング斉唱「日も風も星も」
：ソングリーダー 櫻田委員
- 「四つのテスト」斉唱（歌）
- 「ロータリーの目的」
東京臨海 RCVer. 唱和：高橋副会長
- 来賓・ゲストスピーカー紹介：佐藤正樹会長
ゲストスピーカー 白井正三郎様（当クラブ会員）
- ビジター紹介：酒井会員
坂東裕樹様（東京臨海西RC）
伊藤丈史様（佐久間裕章会員ゲスト）
細目 優様（杉浦幹事ゲスト）
- 8月のお祝い：親睦委員会 井上委員長
 - ・会員誕生日 佐野正行会員・篠塚仁会員
 - ・奥様誕生日 該当者いらっしゃいません。
 - ・結婚記念日 笹本寛治会員
 - ・出席 100% 14年：今井忠会員



- 会長報告：佐藤正樹会長
 - ・NPO 法人「らいおんはーと」及川理事長より、お礼状を拝受いたしました。
 - ・江戸川区花火大会実行委員会より、第44回江戸川区花火大会の協賛についてのお礼、大会が成功裡に終了した報告、来年の開催日は、東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成のため、2020年5月23日（土）に開催とのことです。
- 幹事報告：杉浦幹事
 - ・ガバナー月信は、8月号は7月30日、9月号を8月26日に、会員皆様へメール送信致しました。
 - ・ロータリーの友8月号は、7月31日にメールボックスに配布しました。



- 委員会報告
 - ・本多直前会長
前年度の会計監査をして頂き、無事承認頂きましたので、2018-2019年度決算報告書を会員皆様のメー

ルボックスに配布致しました。

・米山奨学担当（笹本委員）

公益財団法人 米山梅吉記念館より、米山梅吉記念館の事業資金の支援となる賛助会員の登録依頼が届いております。賛助会員は、年間お一人3,000円(1口)です。また、館報が届きましたので回覧致します。



・青少年奉仕委員会（入澤委員長）

第2回 RYLA セミナーが、2020年1月17日（金）～19日（日）沖縄県のネイチャーみらい館にて開催されます。セミナーのチラシを会員皆様のメールボックスに配布致しました。

地区青少年奉仕委員会・地区 RYLA 委員会より、第2回 RYLA セミナーに参加する受講生を推薦して下さいとの依頼が届いております。

・ロータリー財団委員会（小松委員長）

本年度も、皆様より財団に対するご寄付をお願い致します。寄付金の使い道を纏めておりますので、ご参照ください。不定期にはなりますが、例会の際に、寄付をいただけますよう宜しくお願い致します。

・国際奉仕委員会（酒井副委員長）

先週の木曜日にタイのバンコクにてバンコク RC 例会に出席致しました。バナー交換をしてみましたので、ご報告致します。バンコク RC の日本人女性会員に音頭を取っていただき、友好クラブを探しております。また、台北仁愛 RC との交流なのですが、12月に33周年記念例会があるそうなので、そちらに合わせて参加の計画を致しますので、特に新しい方は是非ご参加ください。宜しくお願い致します。



■出席状況報告：地引委員

⇒詳細1頁バナー下に掲載。

■ニコニコ BOX 報告：白幡委員

(ご意向) 白井会員、本日のイニシエーションスピーチ、楽しみにしております。：佐藤正樹会長、高橋副会長、杉浦幹事、井上会員、田村会員、須藤会員、佐久間栄一会員、入澤会員、佐藤大輔会員、小松会員、佐久間裕章会員、尾身会員、櫻田会員、柴田会員、中村会員、山田会員、地引会員、齊藤会員、酒井会員、本多会員、大澤会員、笹本会員、坂本康朋会員、白幡会員、勝間田会員

(ご意向) 本日も宜しくお願い致します。：白井会員

【26件 56,000円 今年度累計 512,000円】



■卓話（紹介者：地引会員）

「イニシエーションスピーチ」

当クラブ会員 白井正三郎様

私は63歳になるのですが、私が育ってきた環境などを含めお話をさせていただき、どういう環境でどのように育って今に至っているのかを中心にお話させていただきますので、どうぞ宜しくお願い致します。私は経営者として成功してきているわけでもなく、波瀾万丈な人生というわけでもございませんので、あまり楽しい話になるかわかりませんが、そこはお許しただければと思います。私が生まれましたのは昭和31年でございます。終戦から10年くらいで生まれました。まだ戦争のなごりがあった時代で、周りにはバラックのアパートがかなりありまして、白い服を着た傷痍軍人の方々がアコーディオンを弾いたり、賽銭箱を置いて道端にいたりしていたのを覚えています。それから、自宅の前にお坊さんが来てお経を挙げ続けて、お金を渡すまで帰ってもらえない、という中で小さい時は育ちました。私の父のことをお話させていただきますと、7年前に89歳で亡くなったのですが、私の父は松江の商店街にいた人間でした。10歳の時に日立に勤めていた父を亡くし、その半年後には母も亡くしました。私の父は次男だったので、それからは親戚の家を転々とする生活を送ることになりました。ですので、父は非常に寡黙で働き者でした。そして私が覚えているのは、父は座るときは常に正座をしていました。おそらくそれは、周りの人に受け入れてくれるようにしたものなのかなと思います。3人兄弟の次男で、10歳で両親を亡くし、兄弟もバラバラになりましたので、父母の愛だとか、兄弟で過ごすなどが無かったので、よく、俺は子供の育て方はわからないんだということを言っていました。その代り、溺愛をされた覚えがあります。そして母は、現在94歳で、行船公園のそばの私の実家になる家で一人暮らしをしておりますが、母の実家はモリサワでして、そこで昔の家の壁に使った藁を裁断する仕事をしている家庭で育ちました。父は酒乱で、妻や私の母に暴力を振るったそうで、やがて仕事も潰れてしまったそうです。私の両親は戦争前に知り合いますが、父は満洲に戦争で行きまして、生き残りました。母のところへ一度死亡したとの電報

が入ったそうですが、それは誤報で、母が再婚しなかったの、その後も一緒でした。父の首には銃弾の傷跡がありまして、非常に悲しみがあつたのだなというところでございます。母の話によると、母は戦時中、第一製薬で、特攻隊が特攻する際に飲む酒に入れる興奮剤を作っていたそうです。未だに母は江戸川花火大会には来られません。当時を思い出すそうです。戦後は何もない二人なので、貧乏を体験するわけでした、私には兄二人がおりますが、6畳間に5人で暮らしておりました。私は、母の味といえば、ソースご飯です。そして、ソースをご飯にかけて炒める料理をうちではチャーハンと呼んでいました。少し生活が良くなると、ひき肉入りのカレーも食べました。ですので、小さい時に味覚が完成すると言われておりますが、私は、未だに美味しいものの味がよくわかりませんので、おいしいものをいただくのが私には勿体ないと思っております。お金だとか食べ物については豊かではなかったのですが、愛情については、両親は非常にかけてくれましたので、そういう意味では両親に心から感謝しております。現在、母は介護を若干受けておりますが、母は、葬式代だけは取ってあるのでお前たちには一切迷惑をかけないように暮らしているからと言うのです。私は月に1回2回しか会いに行けないのですが、その時に、母が、私は長生きしてお前たちに迷惑をかけちゃってと泣くんです。私はそんな母を尊敬しています。私は1歳の時に痔瘻にかかったのですが、両親に病院を巡ってもらって、最後はお茶の水の病院に通院することになりました。そこに行けたのでなんとか助かったわけなのですが、その時に母が足を怪我しまして、代わりに親戚の叔母が病院に連れて行ってくれたそうです。私は、子供のころは体が弱い大人しい子供でした。また、幼稚園も保育園も嫌だと言って行きませんでした。小学校入学の前日に白井正三郎という字だけ習って行ったのを覚えております。私の父は当時、江東劇場（今の船堀の映画館）に行つて酔イカを販売したりしてまして、その後は金属製品のブローカーをしておりました。当時は儲かったようで、うちはちょっとずつ良くなってまいりました。家族旅行は一度だけ大洗海岸へ行きました。私は小学生の時は割と勉強が出来ました。中学生になると、サッカーをやっていたのですが、足のオスグッド病が非常に悪くなつてしまい、両足ともに石膏で固めておまして、運動が出来なくなり、身長も伸びなくなりました。体育の成績は1でございました。その時にやる事が無いので勉強をたくさん致しました。母には、足が痛いと訴えていたのですが、仕事が忙しく、相手にしてくれませんでした。それを悪く思った母は、願掛けをしており、それ以降、好物を絶ちまして、未だに口にしていません。母の愛は大変なものだなと思います。その後、私は高校に進学します。その頃は、父と兄二人は工場を立ててプレス工場を経営してまして、その仕事が傾きまして、そうしますと、家では毎日喧嘩で家庭内がひどくなり、私は家にいるのも嫌になり、学校も面白くないという風になりまして、3年生の時に半年不登

校になりました。高校の卒業式も行っていないのです。ですから、教育長の時に母校の小松川高校の代表挨拶の時には錦を飾ったと思ひました。そういう経験をしていますので、らいおんは一との子供たちの気持ちがわからなくもないんです。家庭がガタガタしているとすぐ不登校になってしまうのです。そんな私を母は知っていたかはわかりませんが、この荒れた家にとダメになってしまうということで、なけなしの金を出してくれて、京都の大学へ行きました。その後、父は工場を売って、何とか実家だけは残りました。そして、落ち着いた頃に東京の大学へ戻りました。大学では、家柄の違いから苦労しました。兄たちは、職を探しながらなんとか生活してましたので、私は役所という固い仕事に就いたわけでございます。そんな私ですが、またの機会がございましたら、役所に入所してからのこともお話させていただければと存じます。今日はありがとうございます。今後とも、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

■ 点鐘：佐藤正樹会長

NPO 法人「らいおんは一と」 理事長 及川信之様からの礼状紹介

東京臨海ロータリークラブ
会長 佐藤 正樹 様

NPO法人「らいおんは一と」
理事長 及川信之

語信 立秋の候、鬼さはまだまだ続いておりますが、東京臨海ロータリークラブ会員の皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

先日は移動例会にて、ぬくもリスパース「NUKUNUKU」へ足をお運びいただき、さらには 当法人へのご支援金、子どもたちへの激励品まで頂戴いたしまして、誠にありがとうございました。

また、このたび新たに16名の方が NPO法人「らいおんは一と」へ、正会員・CSR会員・賛助会員としてご入会いただきました。当法人の活動にご理解頂き、ご協力頂いた皆様方の温かいご支援に、一同 あらためて心より厚く御礼申し上げます。これから、食を中心とした子どもたちの成長支援に全力で取り組んで参りますので、今後とも びっぴり末永いお力添えもいただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

敬白

会員インタビュー

貴方の会社、もしくは貴方の仕事の「目的・目標」を、各46文字以内で教えて下さい。

佐藤 正樹 会長

会社の「目的」

- ・強く潰れない会社にする
- ・会社員の生活向上の為
- ・会社に関わる全ての方々への報恩

会社の「目標」

- ・他社との差別化
- ・利益を最大化する
(ためになること、役に立つこと)
- ・現場職の給与を40万円に

ご協力、有難う御座いました。



2019年7月31日の新本博司ガバナー公式訪問の際の集合写真が出来上がりました。



2019.7.31 新本博司ガバナー公式訪問 於東武ホテルレバント東京